

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		2・東書	第1・2・3学年	保体・701	新しい保健体育
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康な生活と疾病の予防」については、がんの発生の仕方や要因について調べたり、感染症の原因となる病原体の種類や感染経路などについて比較したりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 ・「心身の機能の発達と心の健康」については、思春期に起こる体の変化の理由について調べたり、自分が行っているストレスへの対処の方法についてチェックしたりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 ・「傷害の防止」については、衝突事故の人的要因と環境要因について考えたり、地震が起きたときの一次災害や二次災害の回避の方法について話し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。 ・「健康と環境」については、下水道の普及と川の水質との関係や生活の中で水を汚さない工夫について考えたり、教室の換気の回数と空気の汚れとの関係について話し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 <p>○ 体育分野については、運動やスポーツの楽しみ方やこれからのスポーツライフについて考え、仲間と比較したり、スポーツの文化的意義を踏まえ自分の地域のスポーツ振興に関する計画について調べたりする活動を通して、運動やスポーツの多様な楽しみ方や現代社会におけるスポーツの文化的意義について理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野については、健康と環境の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、資料を基に衛生的な水はどのように確保されているのかを調べ、海外の水道水の管理面や健康面で考えられる問題について話し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動 ・体育分野については、運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、資料を基に運動やスポーツ中における社会性について考え、心身や社会性の発達にどのような効果をもたらすかを話し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動 			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野については、小学校で学習した思春期の男女の体の変化について振り返る学習をした後に、ホルモンの働きや生殖機能の発達、異性への関心を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、第1学年で運動やスポーツへの多様なかわり方を学習した後、豊かな交流や伸びやかな自己開発の機会などスポーツの文化的な意義を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野、体育分野（体育理論）については、「健康な生活と疾病の予防①」は14ページ、「心身の機能の発達と心の健康」は30ページ、「健康な生活と疾病の予防②」は20ページ、「傷害の防止」は30ページ、「健康な生活と疾病の予防③」は22ページ、「健康と環境」は20ページ、「運 			

	<p>動やスポーツの多様性」は11ページ，「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」は15ページ，「文化としてのスポーツの意義」は11ページであり，総ページ数は191ページで，前回より10%増となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北海道と関わりのある内容」を取り上げているページ数は4ページである。 ・「がんに関する内容」を取り上げているページ数は16ページである。
<p>使用上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「オリンピック・パラリンピック」や「共生」などを切り口とした口絵を掲載したり，各章末に章の学習内容に関連した資料を掲載したりするなど，生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 日常経験などから課題の発見につながる発問を設定したり，課題の解決に結び付くヒントなどをキャラクターの吹き出しで示したりするなど，主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 1単位時間の学習課題と一緒に学習のキーワードを示すとともに，巻末にキーワードの解説を掲載したり，全ての生徒が学習しやすいよう，ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど，使用上の便宜が図られている。
<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については，「自然災害による危険」（第2学年）において，北海道胆振東部地震による土砂崩れと液状化の被害の様子が扱われるとともに，「環境への適応能力」（第3学年）の活用場面において，北海道の夏山で起きた事故についてのコラムが取り扱われている。 ○ ICTの活用については，関連するページにマークを示すとともに巻頭にコンテンツ一覧を掲載し，動画やシミュレーション，他教科の教科書紙面などのデジタルコンテンツを視聴して，生徒が学びを深めたり広げたりできるようにするなどの工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については，章の扉に，この章で学習することの欄を設け，その章の学習に関連する小学校の学習内容を記載し，系統性のある指導ができるよう配慮がなされている。
<p>本市生徒の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康の保持増進や体力の向上を目指し，運動やスポーツの習慣化を図ることができるよう，学習課題を提示する前に「みつける」の活動を行うことで，学習課題を一層自分のこととして捉えさせるとともに，生涯にわたる豊かなスポーツライフについて考える活動を設定するなどの工夫がなされている。 ○ 健康・安全に関する習得した知識・技能を活用して，思考・判断したことを表現する力を育むことができるよう，書いて表現することや話し合うことを通してより深く考える「活用する」や，関連する内容について自分の生活に当てはめて考えたり更に調べたりする「広げる」を設定するなどの工夫がなされている。 ○ 心の健康や疾病の予防に関する健康課題の解決に関わる内容やストレス対処，心肺蘇生法等について正しく理解することができるよう，腹式呼吸等のリラクセーションの方法やアサーションについて実践的に学んだり，インターネットによるコミュニケーショントラブルを回避する方法について考えたりする活動を設定するとともに，ストレスの対処法の理論及び実践や心肺蘇生法等について自社サイトの動画により理解を深められるようにするなどの工夫がなされている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章の扉や本文ページに教科書内や他教科との関連を示し，教科等横断的な指導ができるよう工夫がなされている。

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		4	大日本	第1・2・3学年	保体・702
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げられ、目標が達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康な生活と疾病の予防」については、自分の生活を振り返り、規則正しい1日の生活についてグラフを作成したり、喫煙や飲酒、薬物乱用のきっかけについて話し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 ・「心身の機能の発達と心の健康」については、自分の体がどの時期にどのように変化してきたのかについて振り返ったり、ストレスの原因について考え、対処の実習をしたりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 ・「傷害の防止」については、地域で起こりやすい自然災害に対する備えや自然災害が発生した場合の行動について調べたり、傷病者を発見したときの行動について話し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。 ・「健康と環境」については、温熱条件や明るさの至適範囲について考え、教室の温度や明るさなどを調べたり、廃棄物を減らすための家庭や地域での取組について話し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 <p>○ 体育分野については、運動やスポーツを行うことで得られる心身への効果について話し合ったり、国際的なスポーツ大会と国際親善や世界平和との結び付きについて考えたりする活動を通して、運動やスポーツが心身及び社会性に及ぼす効果や、国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な意義や役割について理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野については、健康な生活と疾病の予防の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、資料を基にがんにかかりにくくするための方法を話し合い、身近な大人に向けてがんに対する行動のアドバイスを発表し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動 ・体育分野については、運動やスポーツの多様性の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、資料を基に運動やスポーツの必要性について話し合い、自分にとっての必要性や楽しさについて考えるなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動 			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野については、小学校で学習した思春期の男女の体の変化について振り返る学習をした後に、生殖機能の発達や性への関心、性情報との向き合い方を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、第1学年で運動やスポーツの多様な楽しみ方を学習した後、スポーツの文化的な意義や役割、人々を結び付ける働きを取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野、体育分野（体育理論）については、「健康な生活と疾病の予防①」は14ページ、「心身の機能の発達と心の健康」は25ページ、「健康な生活と疾病の予防②」は18ページ、「傷害の防止」は29ページ、「健康な生活と疾病の予防③」は18ページ、「健康と環境」は19ページであり、体育分野の「運動やスポーツの多様性」は12ページ、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」は16ページ、「文化として 				

	<p>のスポーツの意義」は12ページであり、総ページ数は、171ページで、前回より8%増となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北海道とかかわりのある内容」を取り上げているのは5ページとなっている。 ・「がんに関する内容」を取り上げているのは19ページとなっている。
<p>使用上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に様々な国際大会で活躍する選手の写真や現代的なテーマの口絵を掲載したり、学習内容に関連した「トピックス」や「ミニ知識」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各章の扉に章のイメージや学習内容、小学校、中学校、高等学校の系統性を示したり、章末に章の学習と関連のある資料を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 各章の最後に学習のポイントとなる重要な言葉をまとめ、内容の整理に生かす「学習のまとめ」を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。
<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、口絵において、陸上パラリンピックメダリストの重本沙絵さん（七飯町出身）のメッセージが扱われるとともに、「自然災害による障害の防止」（第2学年）において、土砂崩れ（厚真町）の写真が取り扱われている。 ○ ICTの活用については、関連するページにマークを示し、「中学校保健体育WEB」のまとめの問題や動画等のデジタルコンテンツを視聴して、学習をより深めたり広めたりできるようにするなどの工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については、章の扉に、この章で学習することの欄を設け、その章の学習に関連する小学校の学習内容を記載し、系統性のある指導ができるよう配慮がなされている。
<p>本市生徒の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康の保持増進や体力の向上を目指し、運動やスポーツの習慣化を図ることができるよう、巻頭に現代的なテーマの口絵を多数掲載し、興味・関心を引き出し、主体的に学習を進められるようにするとともに、学習内容を日常生活に生かせるよう、章末に「学びを生かそう」を設定するなどの工夫がなされている。 ○ 健康・安全に関する習得した知識・技能を活用して、思考・判断したことを表現する力を育むことができるよう、「やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう」等の学習とともに、書いて表現することにより考えを深め、今後の生活につなげていくことができるよう「活用して深めよう」を設定するなどの工夫がなされている。 ○ 心の健康や疾病の予防に関する健康課題の解決に関わる内容やストレス対処、心肺蘇生法等について正しく理解することができるよう、腹式呼吸法や漸進的筋弛緩法などリラクセーションの方法を実践的に学んだり、悩んでいる人へのアドバイスを考えたりする活動を設定するとともに、ストレスの対処法や心肺蘇生法等について自社サイトの動画により理解を深められるようにするなどの工夫がなされている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページに教科書内や他教科との関連を示し、教科等横断的な指導ができるよう工夫がなされている。

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			50・大修館	第1・2・3学年	保体・703
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げられ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康な生活と疾病の予防」については、生活習慣病の要因や予防について考えたり、喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけや対処の仕方などについて、話し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 ・「心身の機能の発達と心の健康」については、思春期の発育・発達や個人差について考えたり、様々なリラクセーションの方法について実習したりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 ・「傷害の防止」については、自転車に乗るときにきまりや交通事故を回避するための方法について考えたり、応急手当の一般的な手順を踏まえ、様々な応急手当の方法について実習したりする活動を通して理解を深めるとともに、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。 ・「健康と環境」については、災害による環境の悪化や健康との関係について考えたり、ゴミなどが衛生的に処理されなかった場合の健康に及ぼす影響について話し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 <p>○ 体育分野については、チェックリストを基に運動やスポーツを安全に行うために気を付けることを確認したり、生涯にわたってスポーツに親しむことの大切さについて話し合ったりする活動を通して、運動やスポーツの安全な行い方や現代生活におけるスポーツの文化的意義について理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野については、心身の機能の発達と心の健康の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、資料を基に性衝動や性の尊重、性情報への対処などについて考え、性情報の入手先を情報の具体性や正確性などの視点で確認するなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動 ・体育分野については、運動やスポーツの多様性の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、運動やスポーツへの多様ななかかわり方について考え、中学校生活の中でできることを「する、見る、支える、知る」の視点で発表し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動 			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野については、小学校で学習した喫煙が体に及ぼす影響について振り返る学習をした後に、たばこの煙に含まれる有害物質や喫煙者及び周りの人に及ぼす害を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、第1学年で運動やスポーツの多様な楽しみ方を学習した後、人種や性の違い、障がいの有無などを越えて人々を結び付けるスポーツの文化的な働きを取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野、体育分野（体育理論）については、「健康な生活と疾病の予防①」は12ページ、「心身の機能の発達と心の健康」は30ページ、「健 			

	<p>康な生活と疾病の予防②」は22ページ、「障害の防止」は24ページ、「健康な生活と疾病の予防③」は22ページ、「健康と環境」は22ページ、「運動やスポーツの多様性」は12ページ、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」は16ページ、「文化としてのスポーツの意義」は12ページであり、総ページ数は183ページで、前回より11%増となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北海道と関わりのある内容」を取り上げているページ数は、7ページである。 ・「がんに関する内容」を取り上げているページ数は、25ページである。
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に日常生活や国際社会にかかわる出来事を取り上げた口絵を掲載したり、事例やコラムで中学生の興味・関心の高い話題などを掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻頭に教科書の使い方や保健体育の学び方を掲載したり、深く考えるためのヒントなどをキャラクターの吹き出しで示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 学習を進めるに当たってポイントとなる重要語句を「キーワード」にまとめ、文章中では太字で示したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。
指導上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、「運動やスポーツの多様性」（第1学年）において、北海道室蘭市のマラソン大会が扱われるとともに、「自然災害によるけがの防止」（第2学年）において、北海道胆振東部地震の様子が取り扱われている。 ○ ICTの活用については、ページ下部に「web保体情報館」の欄を設け、学習内容と関連する外部リンクのデジタルコンテンツを視聴して、学習をより深めたり広めたりできるようにするなどの工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については、章の扉に、この章で学習することの欄を設け、その章の学習に関連する小学校及び高校の学習内容を記載し、系統性のある指導ができるよう配慮がなされている。
本市生徒の 学習の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康の保持増進や体力の向上を目指し、運動やスポーツの習慣化を図ることができるよう、興味や関心、能力に応じて運動やスポーツを楽しむことを多様な関わり方で示すとともに、「運動やスポーツの効果・学び方・安全」において、自分なりに運動を実施できるように、体力向上のための計画を作る手順を提示するなどの工夫がなされている。 ○ 健康・安全に関する習得した知識・技能を活用して、思考・判断したことを表現する力を育むことができるよう、「学習のまとめ一生かそうー」の学習を位置付けるとともに、学んだことを活用できるように、章末の「章のまとめ」の問題に「思考・判断・表現の問題」を設定するなどの工夫がなされている。 ○ 心の健康や疾病の予防に関する健康課題の解決に関わる内容やストレス対処、心肺蘇生法等について正しく理解することができるよう、腹式呼吸法や体ほぐしの運動、筋弛緩法等のリラクゼーションの方法を実践的に学んだり、物事の受け止め方を見直したりする活動を設定するとともに、ストレスの対処法や心肺蘇生法等について外部リンクの動画により理解を深められるようにするなどの工夫がなされている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページに教科書内や他教科との関連を示し、教科等横断的な指導ができるよう工夫がなされている。

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			224・学研	第1・2・3学年	保体・704
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 保健分野については、次のような学習活動を取り上げられ、目標が達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康な生活と疾病の予防」については、チェック表で1週間の生活を確認し、よい点や改善点について考えたり、がんの主な原因や予防の方法について意見を出し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 ・「心身の機能の発達と心の健康」については、思春期のダイエットが体の器官に及ぼす影響について調べたり、事例を基に性情報への対処の方法について話し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 ・「傷害の防止」については、緊急地震速報が出されたときの行動について話し合ったり、「ポイントチェックシート」を基に心肺蘇生法の流れについて実習したりする活動を通して理解を深めるとともに、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。 ・「健康と環境」については、事例を基に体の適応能力を超えた環境の例について話し合ったり、水の汚染を防ぐための工夫や方策について、意見を出し合ったりする活動を通して理解を深めるとともに、課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、それらを表現する。 <p>○ 体育分野については、スポーツ活動の安全な行い方を踏まえ、自分が活動を行うときのチェック項目を作成したり、人々を結び付ける働きのあるスポーツの効果や影響について話し合ったりする活動を通して、運動やスポーツの安全な行い方や人々を結び付けるスポーツの文化的な働きについて理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野については、健康な生活と疾病の予防の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、過去1週間に行った運動について振り返り、資料を基に自分に適した運動内容や運動量を考え、生活の中に運動を取り入れる工夫について考えるなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動 ・体育分野については、運動やスポーツの多様性の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生涯にわたってスポーツを楽しく続けるポイントについて考え、大人になってもスポーツを継続するために必要な環境や工夫について発表し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動 			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野については、小学校で学習した喫煙や飲酒の開始のきっかけ等について振り返る学習をした後に、個人や社会的環境の要因、防止に向けた対策を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、第1学年でスポーツの楽しさや必要性を学習した後、体の発育・発達や体力の維持・向上、心に及ぼす効果を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健分野、体育分野（体育理論）については、「健康な生活と疾病の予防①」は16ページ、「心身の機能の発達と心の健康」は28ページ、「健康な生活と疾病の予防②」は22ページ、「障害の防止」は28ページ、「健康な生活と疾病の予防③」は18ページ、「健康と環境」は20ページ、「運 			

	<p>動やスポーツの多様性」は12ページ、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」は12ページ、「文化としてのスポーツの意義」は14ページであり、総ページ数は200ページで、前回より12%増となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北海道と関わりのある内容」を取り上げているページ数は9ページである。 ・「がんに関する内容」を取り上げているページ数は18ページである。
<p>使用上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の扉に学習内容と関連がある専門家のメッセージを掲載したり、身の回りの情報等と健康との関連を示した「保健体育と情報」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻頭に教科書の使い方や学習の方法を掲載したり、学習内容の要点や日常の関係などをキャラクターの吹き出しで示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 各章末で習得した知識の確認や学習活動を振り返り、実生活につなげる「章のまとめ」を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。
<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、「自然災害を知る」（第2学年）において、北海道胆振東部地震の様子が扱われるとともに、「健康と環境」（第3学年）において、厚真町でごみを分別するボランティアの写真相取り扱われている。 ○ ICTの活用については、ページ下部に「教科書サイト」の欄を設け、学習内容と関連する動画や外部リンクなどのデジタルコンテンツを視聴して、学習をより深めたり広めたりできるようにするなどの工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については、章の扉に、小学校で学習したことの欄を設け、その章の学習に関連する小学校の学習内容を記載し、系統性のある指導ができるよう配慮がなされている。
<p>本市生徒の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康の保持増進や体力の向上を目指し、運動やスポーツの習慣化を図ることができるよう、健康・安全との関連について考える「探究しようよ！」を設定するとともに、自分自身の生活を振り返ることでより調和のとれた生活への改善に繋がられるよう「生活チェック表」を掲載するなどの工夫がなされている。 ○ 健康・安全に関する習得した知識・技能を活用して、思考・判断したことを表現する力を育むことができるよう、小単元に「考える・調べる」、「まとめる・深める」などの学習の流れを示し、更に学びを深める「話し合う・説明する・意見を出し合う」等の学習過程を設定するなどの工夫がなされている。 ○ 心の健康や疾病の予防に関する健康課題の解決に関わる内容やストレス対処、心肺蘇生法等について正しく理解することができるよう、腹式呼吸法や漸進的筋弛緩法等のリラクゼーションの方法を実践的に学んだり、ストレスによる心身への負担を減らすコミュニケーションの方法を考えたりする活動を設定するとともに、ストレスの対処法や心肺蘇生法等について外部リンクの動画等により理解を深められるようにするなどの工夫がなされている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページや巻末の「キーワードで見る保健体育の学習内容」に教科書内や他教科との関連を示し、教科等横断的な指導ができるよう工夫がなされている。